

こまえ 公民館 だより

第 **35** 号
2015
(平成 27年)
8 / 15

発行 狛江市公民館

■ 西河原公民館

〒201-0013 狛江市元和泉2-35-1
TEL/03-3480-3201
FAX/03-3480-3203
E-mail nishikou@city.komae.lg.jp

■ 中央公民館

〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5
TEL/03-3488-4411
FAX/03-3480-3341
E-mail chukou@city.komae.lg.jp

「こまえの魅力創作展」

募集 あなたの絵画で

狛江をアピール

狛江をテーマにした作品の募集、展示等を通じて地域の魅力を再発見し、地元への愛着を高め、こまえの魅力を市内外に発信します。

事業は3年間の予定で、平成27年度の募集作品は「絵画」。

応募された作品は市庁舎ロビー等で多くの方に見ていただけるよう展示します。また、選考委員や特別選考委員が選ぶ優秀作品については、制作した方に記念品を贈呈するとともに、ポスター・チラシ等の印刷物や市ホームページでも積極的に使用させていただきます。

■ 募集テーマ

「こまえの魅力」
〜私が「描く」大好きな狛江〜

■ 募集作品

平面絵画（油彩画、水彩画、水墨画、



パステル画、デッサン、版画等)

■ 内容

風景や地域、季節の行事等、狛江を題材とした作品の創作。

■ サイズについて

1号 (22 cm × 14 cm) ～ 20号 (72 cm × 53 cm) 程度。

■ 応募資格

市民全般（在住、在学、在勤者及び公民館利用者）

■ 応募点数

一人2点まで

■ 日程

作品募集：8月15日（土）～12月13日（日）

作品展示：平成28年1月25日（月）

～2月5日（金）《市役所2Fロビー》

■ 提出先・問い合わせ

中央公民館（3488-4411）

■ 選考委員（敬称略）

① 有馬守一（狛江市教育委員会教育長）
委員長

② 辻高毅（狛江市芸術協会会長）

③ 晝間春山（狛江市文化協議会会長）

④ 池田良二（武蔵野美術大学教授）

■ 特別選考委員（敬称略）

高橋都彦（狛江市長）、ほか

■ 主催

狛江市教育委員会（教育部公民館）

■ 応募上の注意点その他

詳しくは募集要項をご覧ください。



平成 27 年度 公民館 利用者懇談会 の報告

公民館利用者懇談会は、利用者同士の交流や意見交換、また、公民館の利用に関する意見や要望をいただく場として、中央・西河原の各公民館で毎年実施しています。今年度は4月下旬にそれぞれ2回ずつ実施し、中央公民館では108団体109人、西河原公民館では61団体65人の参加がありました。

懇談会で出された主な意見や要望と、その対応状況は下記のとおりです。

西河原公民館にて

4月28日(火)、4月30日(木)

和室について

茶室にある点茶盤の組み立てマニュアルを整備してほしい。

職員でマニュアルを作成しました。

ホールについて

床のワックスを滑らないものできないか。

設備業者と相談し、ワックスを変更しました。

設備備品について

ホールの机をキャスター付きの軽いものに変更できないか。

予算との兼ね合いを見て購入を検討します。出し入れが不安な時は職員に声をおかけください。

中央公民館にて

4月24日(金)、4月27日(月)

聴覚障がいをお持ちのかたへの対応

聴覚障がい者が、部屋の調整会に参加するとき、手話通訳者を手配してもらえないか。

5月の調整会から、対応しています。

聴覚障がい者向けに公民館の施設内に磁気ループを設置できるか。

他部署にて所有しているので、事前に公民館に要請があれば、貸出依頼いたします。

設備備品について

OHPが古いので、OHCを購入してもらえないか。

※OHP、OHCとも書面・画像などを投影する機器

現状を確認し、必要があれば次年度以降対応します。

団体活動室について

・印刷機を夜間でも使用できるようにしてほしい。
・夜間は施錠されているが、貸出用の鍵を増やしたり、開錠したままにしておもらえないか。

検討しています。

部屋の使用について

利用当日に予約した部屋以外が空いている場合の変更について夜間も対応願いたい。

検討しています。

駐車場について

公民館利用者は、市庁舎駐車場を無料とするよう担当部署へ伝えてもらいたい。

所管部署へ伝えました。

公運審について

公民館運営審議会委員選考の評価基準を知りたい。

公民館で確認できます。

案内表示について

中央公民館が市民センター内にあることを知らない人がいる。入り口にわかりやすく表示できないか。

案内文、チラシ等で随時対応しています。

※公民館運営審議会は、公民館が地域に根ざして民主的に運営されるために、市民や利用団体の皆さんの民意を反映させようとするものです。館長の諮問に応じ、公民館事業について審議など意見の反映を図ります。

「地域で見守る」シリーズ!

子どもたちのほっとスポット “子どものアトリエ”

和泉本町3丁目の住宅街の一角にある造型教室“子どものアトリエ”、子どもたちへのまなざしが光ります。息子さんが通った体験から、公民館利用者の竹内美貴さんに書いていただきました。



子どものアトリエ

今年20才になる息子が、小学生の6年間お世話になりました。いつも温かな気持ちで、子どもたちを迎えてくれる吉田美恵子先生のおかげで、親が気づかない子どもの変化や成長と一緒に喜びあい、時には心配な様子があれば、一緒に考えて下さる先生の優しさは、子育て中の母には、強い味方でした。

子ども自身の場として

先生の指導は、子どもの創造力を大事にすること、子どもが持つ発想、自分のテーマをイメージして自由に好きに描くこと、作り出すことで、どの子ども、自分らしさを表現するようになり、先生に受け止めてもらえることで、自信をつけていきます。息子も6年間嫌がることなくアトリエに通い続けることができたのは、アトリエが自分の創造力を思う存分に発揮でき、自分の生み出す作品を先生や仲間と共に喜びあえる居心地の良い場所となっていたからだと思います。

こどもの心に寄り添って

子どもたちは、学校や家庭で抱えてくるストレスから、時には絵を描けない日もあったり、何となくイライラした気持ちが言葉に表れ、周囲を驚かせたり、そんな子どもの心が疲れた状態の時には、そっと寄り添い子ども自身が話したすことを待ち、親にも子どもから聞いた話を必要な時には伝えてくれました。子どもだけでなく親の気持ちにも寄り添い親身になって相談にのって下さる先生は、信頼も厚く、宣伝しなくとも子どもを通わせた母から母へと口コミで広がり30年続いています。



ある日、先生からのアドバイスを叱られたと思いき、教室を飛び出してしまった息子を追いかけ、誤解が解けるよう真剣に向き合い話をしてくれたことがありました。先生は、この時に息子から聞いた話を、私にも丁寧な学校で彼に何が巻き起こっているのか心配して話して下さいました。その頃息子は、学校でも集中力がなく、学校の先生に叱られることや、家庭でもぶつかることが多くストレスを抱えこんでいて、いつものアドバイスを素直に受け入れられず、怒りに任せ教室を飛び出したのです。

親子間では、単なる反抗期と見逃しがちな時期でしたが、アトリエで起こった、息子の異変に先生は、すぐに気がつき困った子に留めることなく息子を救ってくれました。未だに、先生と忘れられないエピソードとして話すことがありますが、多くのアトリエっ子の心の母として子どもたちを見守って下さる先生には、感謝の気持ちでいっぱいです。

残念ながら、現在は在籍されている生徒さんだけで、今のところ新たな募集はされていませんが、地域での子育てには、親以外の子どもたちを見守る大人の存在はかせないことだと思います。

子どもたちにとって、安心な居心地の良い居場所がたくさんあるといいなと思います。

(ストレッチ・グループ”ノートル” 竹内美貴)



田部井 則人
(たべいのりひと)館長から

4月1日付けで館長として着任し、日はまだ浅いながらも、狛江の公民館では、800を超えるグループが、様々な分野にわたって、とても活発に楽しみながら活動していらっしやることを日々実感しています。

公民館が行っている事業でも講師や皆さんにご協力いただいています。この場をお借りしてお礼を申し上げます。とともに、皆さんにご協力いただく事業はいつも好評ですので、地域や世代の橋渡し役として引き続きお願いできればと思います。

公民館は市民の皆さん同士が交流し、親交を深めることができる絶好の場です。私たちもそのお手伝いをさせていただきながら、より親しみやすい公民館を目指し、皆さんがより快適に安心して活動いただけるようがんばります。お気づきの点などがございましたらお気軽にお声がけください。



事業のお知らせ

募集!

青年教室 (拍プー)

自然キャンプ参加者募集

【日時】9月12日(土)午前9時から
13日(日)午後5時まで
【会場】奥多摩水根沢キャンプ場
【対象】青年男女 【定員】20人
【参加費】3,000円
【申し込み】中央公民館(3488-4411)へ

仕事や学業は
充実させたいが、
自由な精神も
大切にしていきたい人、
友だちを作りたい人の
参加、お待ちしております。



西河原映画会

「ていだかんかん」

【日時】9月12日(土)
午前10時～
午後2時～

【監督】李闘士男

【出演】岡村隆、松雪泰子、吉沢悠、他

【公開】2010年 【上映時間】120分

不器用で情けない男が「サンゴ礁再生」の奇跡に向かって夢を追いかける。その彼を信じて疑われない愛する妻と家族、そして仲間たちの10年を描いた真実の物語。



こまえ市民大学

土曜日の午後、中央公民館(市民センター)で開催。秋も多彩な講座を企画しています。詳細は「広報こまえ」(1日、15日発行)や市内の掲示板でお知らせします。

9月5日	「しまった!うっかりミスはなぜ起きる」 原子力技術研究所 ヒューマンファクター研究センター 藤本順三さん
9月12日	「栄養と食の安全」 慈恵第三病院管理栄養士 狩野路也さん
9月19日	「近世古文書にみる拍江近郊の生活」 拍江市役所市史編さん室 滝澤雅史さん
10月15日(木)	課外講座 世界遺産の富岡製糸場と渋沢栄一記念館見学 バスで訪ね、専門家の解説を聞く好評の講座です。
11月28日	岩崎雅典監督の記録映画とお話 「被災地の今 福島・生きものの記録 パート3」

※この他、終戦から70年を迎えた沖縄の歴史や文化、基地問題などを考える連続講座を予定しています。



●● 団体活動室の整理をお願いします。 ●● 団体活動室の棚の抽選を行います。 ●●

- (整理期間)9月24日(木)～30日(水)午後5時まで (荷物の移動先)第一会議室 ●● (日時)10月3日(土)午前10時
- 団体活動室の棚の抽選を行うため現在棚を利用している団体は、荷物の整理と移動をお願いします。整理期間後に棚に残った荷物は、直ちに処分いたしますのでご注意ください。 ●● (会場)講座室
- ※荷物には必ず団体名を明記してください ●● ※会場準備の都合で午前9時30分より前のご来館はお控えください。

新しい公民館運営審議会の委員を紹介します。



<写真は左から>谷田部馨、冨永美奈子、石田寿彦、斎藤謙一、日向正文、森田裕之、長谷川まゆみ、深井秀造、飯田陽子(敬称略)

<右上>学識経験の伊東静一委員

公運審委員は今春から来年度いっっぱいの二年間の任期で、公民館が民主的に運営されるよう、各種事業について調査審議しています。

今年度はこれまでに、学識経験委員を講師に公民館についての基礎的な学習をしたり、拍江の公民館の歴史、行政上の位置づけ、昨年度の活動の記録について事務局から報告を受けています。

公運審だよ!

また、利用者懇談会での質疑事項、市民意識調査での市民センター(公民館・図書館)についてのアンケート結果など、今後の検討の資料として説明を受けています。

前期公運審の提言を受けて、今年度は多摩地域各市の公民館の運営状況、施設予約・貸出の方法などについて、調査を行うこととしました。その結果を踏まえて、公民館のより良い運営に反映できたらと考えています。

また拍江市は東京都公民館連絡協議会(都公連)に加盟しており、近隣市の公民館と協力して情報交換や研修を行っています。今年は、次の二つの研修機会があります。関心をもたれる方は、ぜひご参加ください。

(申込みは、八月末までに中央公民館へ)

①都公連研修「市民ニーズに応える公民館運営、事業の設定」

国立市、小金井市、町田市の事例発表と講師(神代浩氏:元文部科学省社会教育課長)のアドバイス
9月26日(土)午前10時～12時
会場:拍江市中央公民館(市民センター)ホール 参加費:無料

②関東甲信越静公民館研究大会「公民館 その新たな可能性」 基調講演「持続可能な社会づくりと公民館」

末本誠氏(神戸大学名誉教授)
11月14日(土)午前10時～午後4時
会場:小平市「ルネこだいら」 参加費:3,500円